

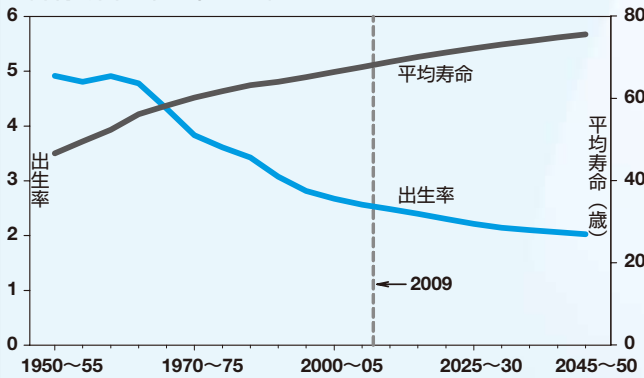
## 世界の人口高齢化 その現状と将来像

国連 World Population Aging 2009より

### 1. 地球規模での高齢化

平均寿命の延伸と出生率の低下により人口高齢化は地球規模で進行している。先進国ではすでに1998年に高齢者数が子どもの数を上回っており、世界的には2045年に初めて上回ることになる。

合計特殊出生率と平均寿命 (1950~2050)

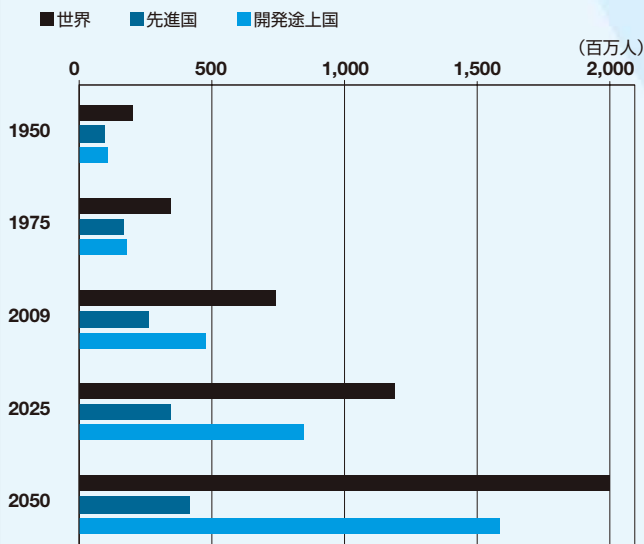


### 2. 60歳以上人口

世界の60歳以上の人口は1950年から2009年に2億500万人から7億3,700万人と3.5倍になり、その後年間1.2%の割合で増加し続け、2050年にはさらに3倍の20億人になると予測されている。

先進国では60歳以上は2009年の20%から2050年には約30%になる。一方途上国では2009年の8%から2050年には現在の先進国と同じ20%にまで増加する見通しである。途上国は高齢化のスピードが先進国よりも早いにもかかわらず、社会経済が成熟していないため課題が多い。

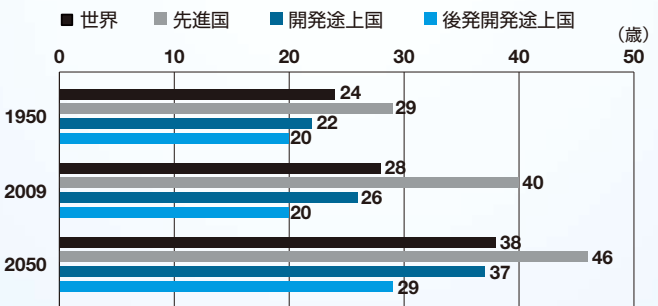
60歳以上人口 (1950~2050)



### 3. 平均年齢

2009年から2050年までに平均年齢は世界全体で28歳から38歳と約10歳高くなる。中でも最も平均年齢の高い日本と香港は55歳以上になる。

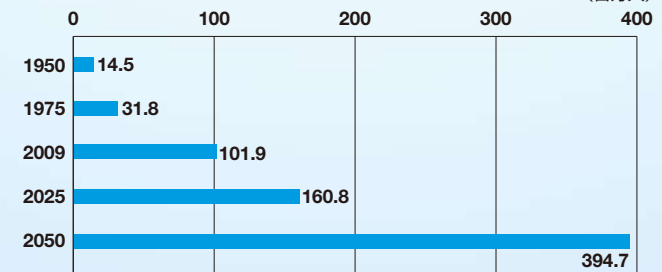
平均年齢 (1950~2050)



### 4. 高齢者の高齢化

高齢者の中でも高齢化が急速に進み、特に80歳以上の高齢者は年間4.0%のスピードで増加する。現在、60歳以上の7人に1人が80歳以上であるが、2050年には5人に1人になる。

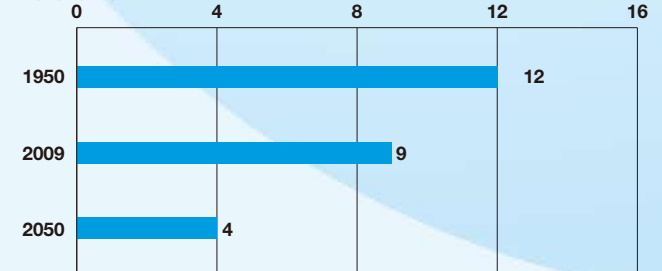
80歳以上人口 (1950~2050)



### 5. 潜在扶養率 (65歳以上人口に対する15~64歳人口)

1950年から2009年までに潜在扶養率(PSR)は12から9に低下し、さらに2050年までには4となる。年金の加入者である労働者人口の減少は、年金制度の持続に大きな影響をもたらすであろう。

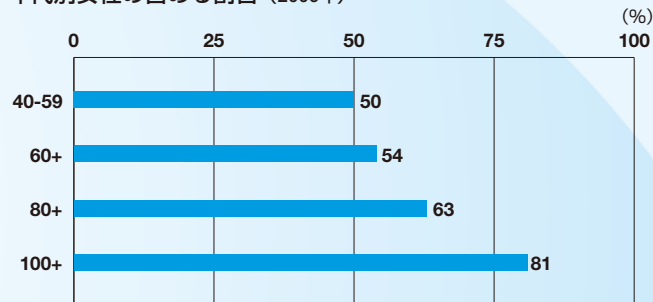
潜在扶養率 (1950~2050)



## 6. 高齢女性

女性は男性よりも長生きする。2009年現在、60歳以上の高齢女性は6,600万人で、80歳以上では男性の2倍、100歳以上では4～5倍となっている。

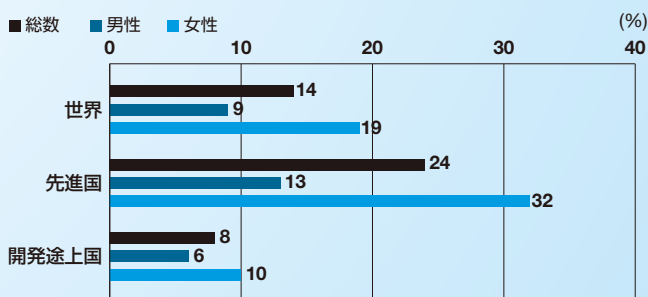
年代別女性の占める割合 (2009年)



## 7. 独り暮らし高齢者

独り暮らし高齢者は社会・経済的な弱者になりやすいが、特に女性は長生きするうえに再婚率が低いため独り暮らしが多い。60歳以上高齢者のうち、男性は80%が夫婦2人暮らしである一方、女性は半数以下である。独り暮らしは、男性が9%であるのに対し、女性は19%となっている。

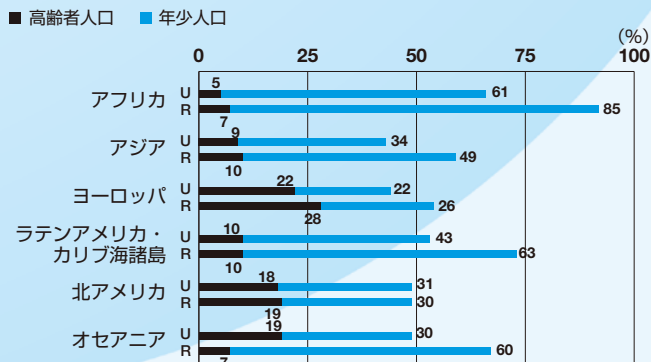
60歳以上の独り暮らし割合 (2005年)



## 8. 地方の高齢化

都市部でも地方でも高齢化は同じように進んでいるが、地方は二重の課題を抱えている。生産年齢人口に比べて子どもと高齢者の数が圧倒的に多いことである。これは、地方における高出生率と若者の都市部への流出に起因するものである。地方では福祉と医療サービスの整備が都市部に比べて不十分であり、貧困率も高くなっている。

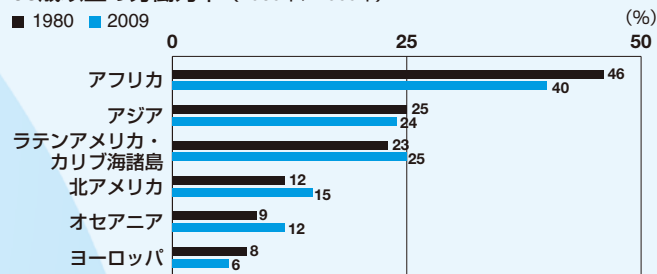
都市部(U)と地方(R)の従属人口割合 (2005年)



## 9. 退職年齢

高収入を得ることができる国では高齢者は早期引退をするため高齢者の就業率が低い。途上国では年金を受給できない高齢者や低所得の高齢者が多いため、必然的に就業率が高くなる。65歳以上の男性の就業率をみると、先進国は14%であるのに対し、途上国は35%である。女性も同様の傾向があり、先進国8%に対し途上国は19%となっている。

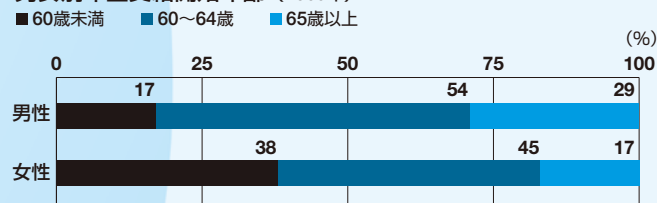
65歳以上の労働力率 (1980年, 2009年)



## 10. 年金支給開始年齢

多くの国では年金の最低加入期間は男女同じだが、支給開始年齢は女性の方が早い。40%の国では約5年の差がある。一方、男女ともに先進国の方が途上国よりも支給開始年齢は高い傾向にある。

男女別年金支給開始年齢 (2009年)

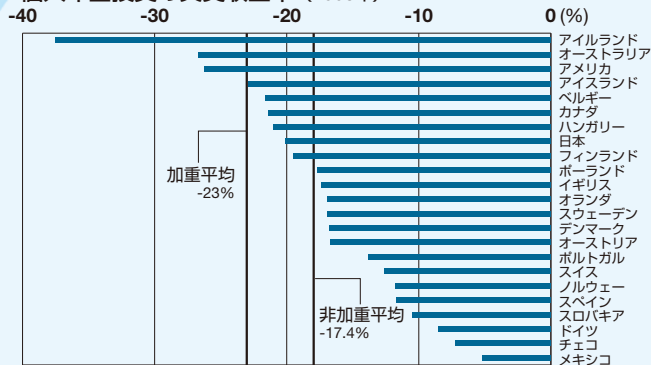


## 11. 経済危機の影響

2007年からの世界的な経済危機は、年金基金投資収益率に大打撃をもたらし、多くの国々で年金基金の価値が急落した。その結果、高齢者の退職後の蓄えは大幅に縮小し、不動産価格の下落と併せて、退職後の生活に必要な資産を著しく低下させることとなった。

最近の世界銀行の推計によると、現在年金受給権を持つ就業者は世界にわずか1/4程度であり、さらに高齢者の5人に4人は年金に加入していない状況である。

個人年金投資の実質収益率 (2008年)



Source: OECD, Pensions at a Glance 2009, OECD, Paris, France.  
Note: Includes countries where pension fund assets in 2007 were worth more than 4 per cent of GDP.